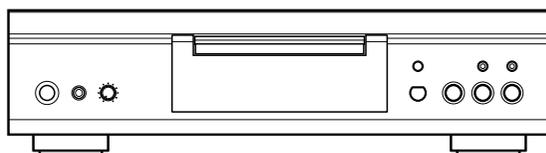




DVD AUDIO/VIDEO SACDプレーヤー

DVD AUDIO/VIDEO SACD PLAYER

DVD-S2300



取扱説明書

このたびは、ヤマハDVD AUDIO/VIDEO SACD プレーヤー DVD-S2300をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば△は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえば⊘は「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
異常なおいや音がある。 煙が出る。
内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

重いものを上に載せない。 ステープルで止めない。 加工をしない。
熱器具には近づけない。 無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

浴室・台所・海岸・水辺 加湿器を過度にきかせた部屋
雨や雪、水がかかるところ
水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱のため本機を設置する際には:

布やテーブルクロスをかけない。 じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
あおむけや横倒しには設置しない。 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(少なくとも本機の左右、上、背面各2.5cm以上離して設置してください。)
本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。

**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

本機のディスクの挿入口にもものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。

接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

電源を入れる前や再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。
突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因となることがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには本機(または接続器機)の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴力障害の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。
感電の原因となることがあります。



注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。
それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



禁止

ディスクの挿入口には手を入れない。
本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆりみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱・火災の原因となることがあります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。
正常に動作しないときには、電源を入れたまましばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。
ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

- ・ 本機は音楽や映画などを再生する目的で設計されております。従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりではなく、スピーカーをいためる原因となることがあります。
- ・ デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を開めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

目次

はじめに

目次	1
本機の特長	2
再生できるディスク	2
付属品を確認する	3
リモコンを準備する	3
各部の名称とはたらき	4
フロントパネル/リモコン	4
ディスプレイ	6

準備する

接続のしかた	7
端子の種類	7
画像を再生するために	8
音声を再生するために	9

ディスクを再生する

ディスクを再生する	10
再生のまえに	10
基本操作	10
スーパーオーディオCDの再生について	12
MP3の再生について	12
いろいろな再生を楽しむ	13
ディスクメニューを使って再生する	13
より高画質を楽しむ(プログレッシブ出力)	13
DVDオーディオ特有の機能について	14
音声、字幕言語、アングルを切り替える	15
お好みの順に再生する(プログラム再生)	16
順不同に再生する(ランダム再生)	17
すべてのグループを順に再生する (オールグループ再生)	17
お好みの位置を記憶させる(マーカー)	18
繰り返し再生する(リピート再生)	18
お好みの場所を繰り返し再生する (A-Bリピート再生)	19
絵表示(GUI画面)を使って操作する (DVDモードのみ)	20
GUI画面の操作方法	20
ディスク情報画面の表示例	21
本機情報画面の表示例	22
シャトル画面の表示例	23

さまざまな設定

DVDモードの設定を変更する	24
設定方法	24
セットアップメニュー一覧表	25
視聴制限	27
PCM ダウンサンプリング変換	27
スピーカー設定	28
SACDモードの設定を変更する	30
スピーカー設定	30
ディスプレイの明るさ調節	31
時間表示の切り替え	31

その他の情報

故障かな?と思ったら	32
用語解説	34
ディスクのお取扱いについて	34
主な仕様	35
ヤマハホットラインサービスネットワーク	36

■ 本書の記載について

※ヒントは操作上のアドバイスなど補足的な説明です。

本書では、本体とリモコンのどちらでも操作できる場合は、リモコンでの操作を中心に記載しています。

本取扱説明書は製品開発に先がけ印刷されております。その後、操作性の向上、その他の理由により、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様優先されます。説明の便宜上、文中のイラストや名称等が実際の製品や梱包箱等と異なる場合があります。

本機の特長

高性能ビデオD/Aコンバーター搭載

あらゆるオーディオ/ホームシアター機器構成に対応する多彩な出力端子

映像系： D1 / D2端子

コンポーネント端子 各1系統

Sビデオ

ビデオ(コンポジット)端子 各2系統

音声系： デジタル 同軸端子

光端子 各1系統

アナログ(L/R)端子

6chディスクリット端子

低音域を強調するSUB OUT/BASS

MGMT(management)端子

SACD用ハイエンドD/Aコンバーターを全チャンネル(8ch)に搭載

DVDオーディオ/ビデオ192kHz 24bit対応D/Aコンバーター搭載

SACD/DVD完全独立回路・個別チューニングにより最適な画質・音質を追求

ドルビーデジタル、DTSデコーダー搭載

DCDiプログレッシブ出力

MP3マルチセッション対応



ドルビーラボラトリーズからの実施権により製造されています。「ドルビー」及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



DTSおよびDTSデジタルサラウンドはデジタルシアターシステムズの登録商標です。



DCDiはGenesis Microchip社の事業部門であるFaroudjaの登録商標です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

再生できるディスク

本機はディスクのレーベル面に下記のロゴマークがついているディスク(規格に合致しているもの)を再生できます。それ以外のディスクは、本機の故障やディスクの破損の原因となりますので使用しないでください。

・ DVDモード



・ SACDモード



本書内では、下記のマークを使用しています。

DVDビデオ	DVDオーディオ	ビデオCD	音楽CD

スーパーオーディオCD

ご注意

- 本機は下記のディスクを再生できません。
フォトCD、CD-ROM、DVD-ROM、DVD-RAM、SVCD、CDV、CD規格外ディスクなど。
- 記録状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。レコーダーで記録する際は信頼できるメーカーのディスクを使用してください。
- DVD-RWは、ビデオフォーマットで録画された場合のみ再生できます。
- CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+Rはファイナライズされたディスクのみ再生できます。
- ハート型など特殊形状のディスクは使用しないでください。
- DVDオーディオ、DVDビデオ、ビデオCDの中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。これはソフト制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。
- 本機はビデオ信号方式がPALのディスクの映像を再生できません。

DVDビデオのリージョンコードについて

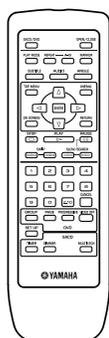
一般のDVDプレイヤーとDVDビデオディスクにはリージョンコード(発売地域ごとに割り当てられた識別番号)が決められています。本機では下表のディスクが再生できます。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		 またはリージョンコード2も含むリージョンのディスク

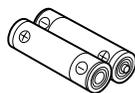
付属品を確認する

同梱されている付属品を確認してください。

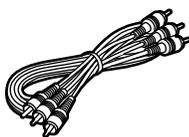
リモコン



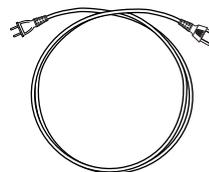
単3乾電池 (2本)



音声 / 映像ピンケーブル

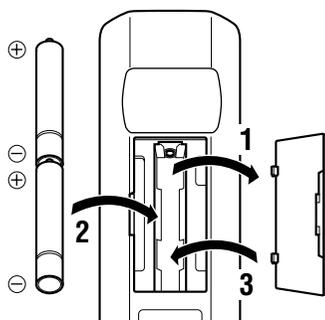


電源コード



リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる



1 電池カバーを取りはずす。

2 付属の単3乾電池 (2本) を、リモコンの電池ケース内の表示にあわせて、プラス (+) とマイナス (-) の向きを間違えないように、正しく入れる。

3 電池カバーを閉じる。
電池ケース内の表示に従って、プラス (+) とマイナス (-) の向きを間違えないように正しく入れてから、裏蓋を閉める。

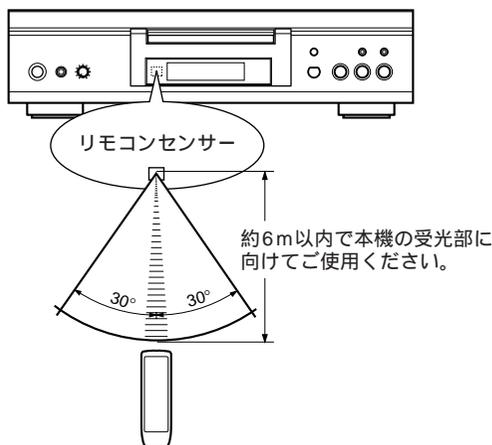
乾電池が消耗したときは、交換してください

乾電池が消耗すると、リモコンを操作できる距離が極端に短くなったりします。このような場合は、すべて新しい乾電池に交換してください。

ご注意

- ・ 消耗した乾電池は早めに交換してください。
- ・ 新しい乾電池と、1度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 種類の異なる乾電池 (アルカリとマンガンなど) を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- ・ 乾電池が液漏れをした場合は、ただちに乾電池を破棄してください。漏れた液にふれたり、衣類などに付着しないようにしてください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。

■ リモコンの使用について

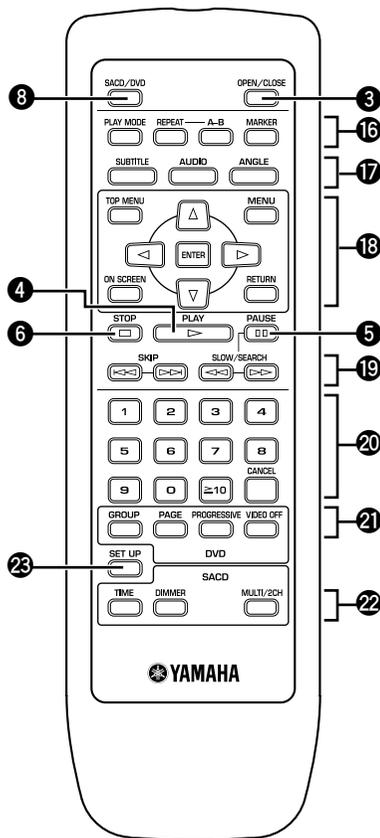
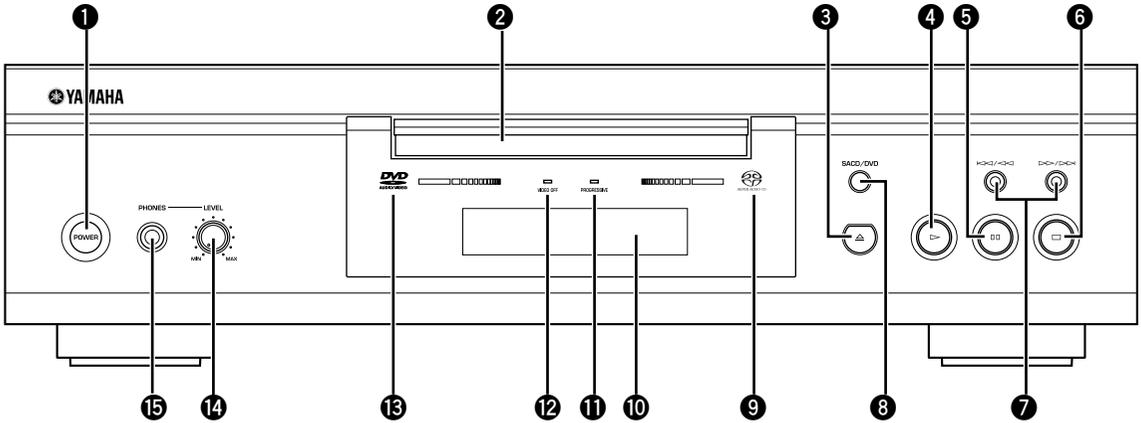


リモコンの取り扱いについてのご注意

- ・ 水やお茶をこぼしたり、落としたりしないでください。
- ・ 下記のような場所には置かないよう、ご注意ください。
 - ストープのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところ。
 - ほこりの多いところ。
 - 極端に寒いところ。

各部の名称とはたらき

フロントパネル / リモコン

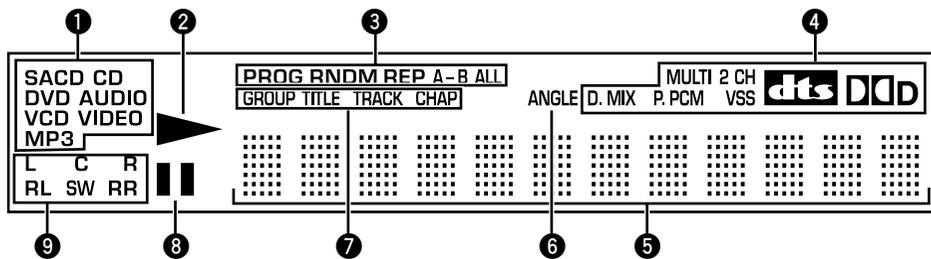


- ① ^{パワー} POWERスイッチ
本機の電源を入/切します。
- ② ディスクトレイ
再生するディスクをセットします。
- ③ △ キー（フロントパネル）
オープン クローズ
OPEN/CLOSEキー（リモコン）
トレイを開閉します。
- ④ ▷（再生）キー
ディスクを再生します。
- ⑤ ⏸（一時停止）キー
再生を一時停止します。
- ⑥ ◻（ストップ）キー
再生を停止します。
- ⑦ ⏮/⏪、⏩/⏭ キー
押すごとにトラック/チャプターの頭出し、押し続けると早送りまたは早戻しをします。
- ⑧ SACD/DVD キー
DVDモードとSACDモードを切り替えます。
- ⑨ SACDモードインジケータ
本機がSACDモードのとき点灯します。
- ⑩ ディスプレイ
再生時の情報や初期設定値などを表示します。

- ⑪ PROGRESSIVEインジケーター
プログレッシブ出力時に点灯します。
- ⑫ VIDEO OFFインジケーター
VIDEO OFF機能動作時に点灯します。
- ⑬ DVDモードインジケーター
本機がDVDモードのとき点灯します。
- ⑭ PHONES LEVELコントロール
フォーンズ レベル
ヘッドフォンの音量を調節します。
- ⑮ PHONES端子
フォーンズ
ヘッドフォンを接続します。
- ⑯ 左より：
プレイ モード
PLAY MODEキー
「通常再生」プログラム再生「ランダム再生」を切り替えます。
リピート
REPEATキー
繰り返し再生します。

A-Bキー
指定した2点間を繰り返し再生します。
マーカー
MARKERキー
見たい(聴きたい)箇所を記憶します。
- ⑰ 左より：
サブタイトル
SUBTITLEキー
DVDの字幕言語を切り替えます。
オーディオ
AUDIOキー
DVDの音声言語を切り替えます。
アングル
ANGLEキー
マルチアングルが記録されているディスクで、アングルを切り替えます。
- ⑱ 左上より：
トップ メニュー
TOP MENUキー
ディスクメニューを表示します。
メニュー
MENUキー
ディスクメニュー画面を表示します。
エンター
<、>、△、▽/ENTERキー
メニューの選択や設定などを行います。
オン スクリーン
ON SCREENキー
GUI画面を表示します。
リターン
RETURNキー
メニューを一つ手前に戻します。
- ⑲ 左より：
◀◀ ▶▶ (スキップ) キー
押すごとにディスクトラックの頭出しをします。
◀▶ (スロー/サーチ) キー
早送りまたは早戻しをします。
- ⑳ 数字キー
数字を入力します。
キャンセル
CANCELキー
モードや設定を取り消します。
- ㉑ 左より：
グループ
GROUPキー
DVDオーディオのグループを選択します。
ページ
PAGEキー
DVDオーディオの静止画を選択します。
プログレッシブ
PROGRESSIVEキー
DVDモード時にプログレッシブ映像出力とインターレース映像出力を切り替えます。
ビデオ オフ
VIDEO OFFキー
DVDオーディオ再生時に映像出力を入/切します。
- ㉒ 左より：
タイム
TIMEキー
SACDモードで、時間表示を切り替えます。
ディマー
DIMMERキー
SACDモードで、フロントパネルにあるディスプレイの明るさを調節します。
マルチ/2チャンネル
MULTI/2CHキー
SACDモードで、ステレオ(=2チャンネル)とマルチチャンネルが収録されているスーパーオーディオCD再生時に、ステレオ再生とマルチチャンネル再生を切り替えます。
- ㉓ セットアップ
SETUPキー
初期設定画面を表示します。

ディスプレイ



- 1** ディスク表示
再生中のディスクの種類が点灯します。
SACD: スーパーオーディオCD
CD: 音楽CD
DVD AUDIO: DVDオーディオ
DVD VIDEO: DVDビデオ
VCD: ビデオCD
MP3: MP3形式のCD-RやCD-RW
- 2** 再生表示
ディスク再生中に点灯します。続き再生メモリー機能が働いているときに点滅します。
- 3** 再生状態表示
プログラム、ランダムなどの再生状態を表示します。
PROG: プログラム再生
RNDM: ランダム再生
REP: リピート再生
REP A-B: A-Bリピート再生
REP ALL: オール(ディスク全体)リピート再生
- 4** 音声情報表示
ディスクに収録されている音声形式の表示です。複数の形式で収録されているときは、ディスクのメニューや本機の操作、設定によって選択されているものが点灯します。
DTS
DDD(ドルビーデジタル)
PCM(リニアピーシーエム)
P.PCM(バクト ピーシーエム)
MULT(マルチチャンネル)
2 CH(2チャンネル)
D.MIX(ダウン ミックス)
DVDオーディオで、ダウンミックス(マルチチャンネルを2チャンネルに集約)できる音声信号が収録されているトラックの再生時に点灯します。
VSS:
バーチャルサラウンド動作時に点灯します。
- 5** メイン表示部
再生経過時間やトラック番号などを表示します。
- 6** ANGLE表示
DVDで、別アングルが収録されている場面の再生時に点灯します。
- 7** メイン表示部の表示モード
GROUP: グループ番号表示
TITLE: タイトル番号表示
TRACK: トラック番号表示
CHAP: チャプター番号表示
- 8** 静止(一時停止)表示
ディスク再生を静止したときや、一時停止したときに点灯します。
- 9** スピーカーチャンネル表示
音声信号が含まれるチャンネルに対応した表示が点灯します。
L: メイン左、C: センター、R: メイン右、RL: リア左、SW: サブウーファー、RR: リア右

接続のしかた

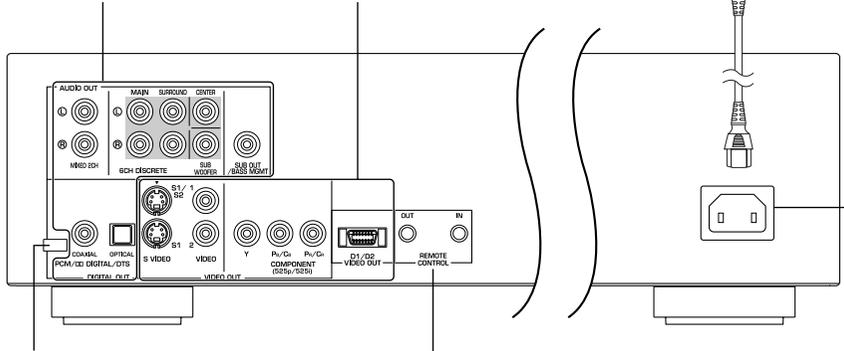
接続する前に、本機および接続する機器の電源コードがコンセントから抜かれていることを確認してください。また、すべての接続が完了するまでは電源コードをつながないでください。

端子の種類

音声出力端子です。AVアンプなどの音声入力端子につながります。

映像出力端子です。AVアンプの映像入力端子か、モニターの入力端子につながります。

すべての接続が完了してから、付属の専用電源コードを接続し、電源コンセントへ接続します。

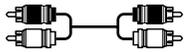


工場検査用の端子ですのでお使いになれません。

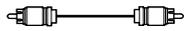
業務用の拡張用端子です。

接続の際には、お手持ちの機器にあった市販の接続コードをご用意ください。

オーディオ用



ステレオピンケーブル

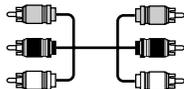


同軸ピンケーブル



光ファイバケーブル

オーディオ/ビデオ用

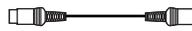


音声/映像ピンケーブル
(本機に1本付属)

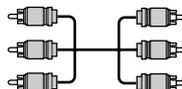
ビデオ用



ビデオ用ピンケーブル



Sビデオケーブル



コンポーネントビデオケーブル



D端子用ケーブル

準備する

画像を再生するために

本機の映像出力端子を直接モニターにつなぐ方法と、AVアンプの映像入力につないでからモニターにつなぐ方法があります。AVアンプを介することで、アンプの入力選択だけで再生する音声と映像を同時に切り替えたり、アンプの各種設定に OSD(オンスクリーンディスプレイ) を使用できます。

本機には多彩な映像出力端子がありますが、モニターに装備されている入力端子に合わせて、どの接続をするか決めてください。本機とAVアンプ、AVアンプとモニターは、どちらも同じ系統の端子を使って接続してください。

ご注意

本機とモニターの間にビデオテープレコーダーなどを接続しないでください。コピー防止技術の影響で再生時に画像が乱れることがあります。

Sビデオ

① S VIDEO端子(S1/S2, S1)

色と輝度を分けて伝送し、通常のビデオ信号(コンポジット)より美しい映像を再生できます。市販のSビデオケーブルを使ってSビデオ入力端子(S VIDEO)につないでください。

※ ヒント

S1、S1/S2端子については、用語解説を参照してください。S1/S2端子は、DVDモードのセットアップメニューで出力切り替えができます。

ビデオ

② VIDEO端子(1, 2)

通常のビデオコンポジット信号を伝送します。付属の音声/映像ケーブルの黄色を使って映像入力端子(VIDEO)につないでください。

※ ヒント

VIDEO端子の各1と2は同じ信号を出力します。他の機器(モニターやAVアンプ)に接続して使用いただけます。

コンポーネント

③ COMPONENT 525p/525i端子

色差信号2種類と輝度を分けて伝送し、Sビデオよりさらに美しい映像を再生できます。本機はプログレッシブ出力に加えて最新輪郭補正技術DCDi回路を搭載しており、これらの端子を使うと、大画面でもなめらかで自然な高品位映像を楽しめます。市販のコンポーネントビデオケーブルを使ってコンポーネントビデオ入力端子(COMPOONENT VIDEO)につないでください。

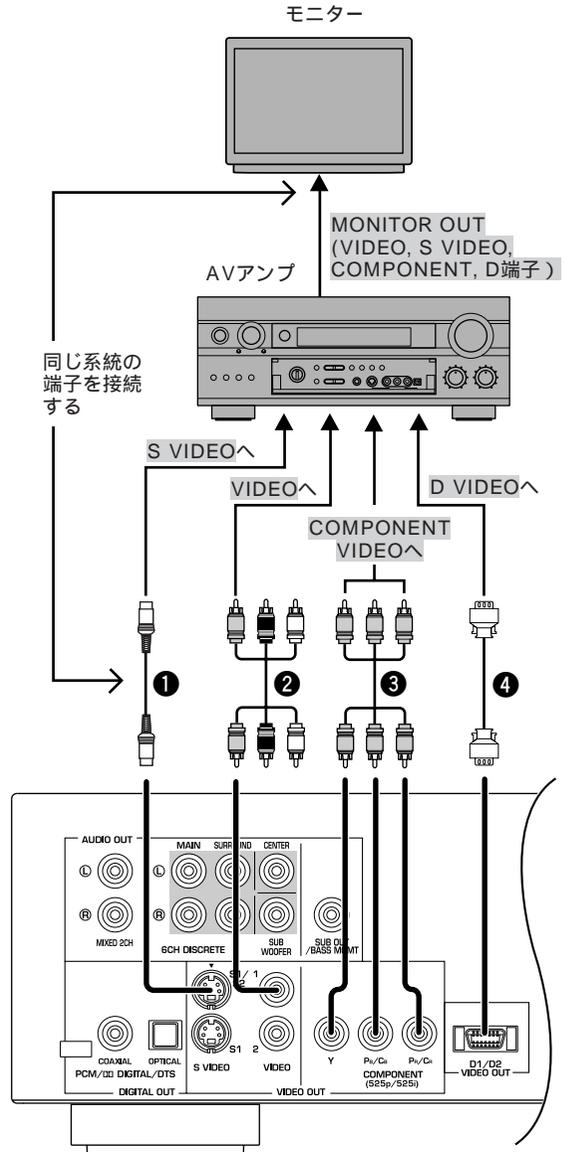
ビデオ

④ D1/D2 VIDEO端子

上記コンポーネントビデオ信号と、その他のコントロール信号(画面のアスペクト比など)を1本のケーブルで伝送します。市販のD端子ケーブルを使ってD映像入力端子につないでください。

ご注意

接続先の入力にD1端子だと、プログレッシブではなくインターレース(従来方式)の映像になります。



音声を再生するために

用途や接続先アンプの端子にあわせて接続してください。

デジタルアウト

① DIGITAL OUT端子

AVアンプの6.1チャンネルデコード(DVDビデオ)や音場効果を楽しむとき

これらOPTICAL(光) COAXIAL(同軸)端子どちらかの接続が必要です。
市販の光ファイバーケーブル、デジタル同軸ケーブルを使って、アンプのデジタル入力端子につないでください。

ご注意

SACD再生時、DIGITAL OUT端子から音声信号は出力されません。下記②または③の接続が必要です。

ミクスト2チャンネル

② MIXED 2CH端子

付属の音声/映像ピンケーブルを使って、アンプなどのアナログステレオ入力端子に接続します。白を(L)左、赤をR(右)につないでください(黄色は映像用)。

6チャンネルディスクリート

③ 6CH DISCRETE端子

SACD、DVDオーディオのマルチチャンネル再生を楽しむとき

市販のオーディオ用ピンケーブルを使って、アンプの外部デコーダー入力端子(6CH INPUTなどと印字されています)の、それぞれ対応するチャンネル(MAIN L/R、CENTERなど)につないでください。

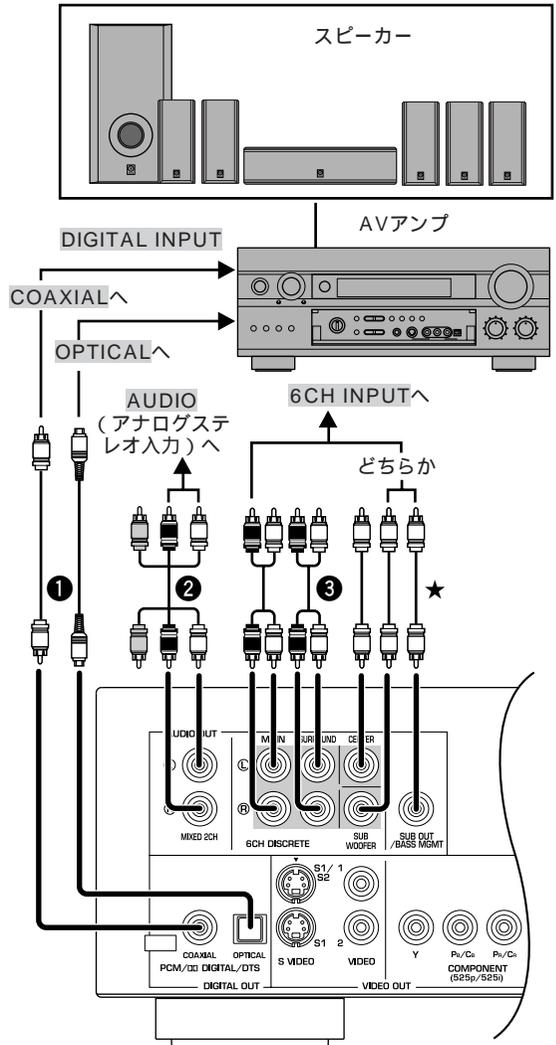
サブアウト/バスマネジメント

★ SUB OUT/BASS MGMT端子

全てのチャンネルの低域成分をあわせて出力する端子で、上記6CH DISCRETEのSUB WOOFER出力端子のかわりに使用すると、メインスピーカーが小型(ウーファの口径が16cm以下)でも低音の量感が得られます。
市販のオーディオ用ピンケーブルを使って、アンプの外部デコーダー用入力のサブウーファー用端子につないでください。

※ ヒント

6CH DISCRETEのSUB WOOFER出力端子を使用すると、よりオリジナルに近い自然な低音になります。ただし、2チャンネル(ステレオ)ソース再生時は、LFE(サブウーファーにわりあてられた低域の効果音)がないため、サブウーファーからは音がでません。お好みに合わせて選んでください。



準備する

ディスクを再生する

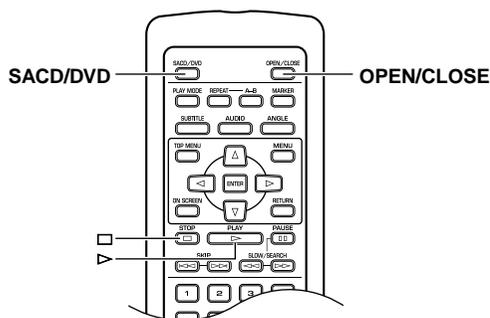
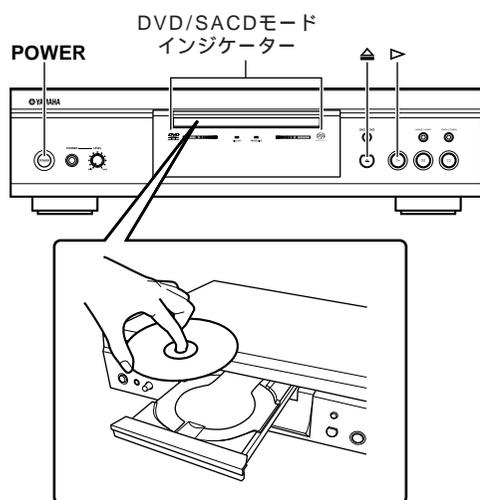
再生のまえに

正しく再生するために、接続されている機器にあわせて音声/映像出力を設定してください。(8、9ページ)

ご注意

本機を、DTSデコーダーを搭載していないAVアンプ等にデジタル端子を接続しているときは、必ずセットアップメニューの音声設定DTS Digital Surroundを、PCMにしてください。設定がBitstreamになっていると、ノイズが発生して耳やスピーカーをいためることがあります。

基本操作



- 1 本体のPOWERキーを押して電源を入れる。
- 2 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを出す。
- 3 ディスクトレイにディスクを置く。

- 4 (必要に応じて)SACD/DVDキーを押して、モードを切り替える。
詳しくはこのページの「ディスク再生モードの切り替え」をご覧ください。

- 5 本体またはリモコンの▷キーを押す。
ディスクトレイが閉まり、再生がはじまります。

※ ヒント **DVD-A** **DVD-V** **VCD**

- メニュー画面が表れた場合は、「ディスクメニューを使って再生する(13ページ)」をご覧ください。
- 本機がDVD再生を終えると、停止するか、メニュー画面を表示します。

ご注意

- 本機は、ファイナライズされていないCD-RやCD-RWのディスクを再生できません。
音楽用CD-R/CD-RWの再生対応機器などで再生できるように処理すること。

ディスク再生モードの切り替え

停止中またはディスクトレイが開いているときに、SACD/DVDキーを押す。

本機は、SACDとDVDそれぞれの特性を最大限に引き出すよう、個別の再生回路を搭載しております。SACDを再生するときにはSACDモードに、それ以外のディスクを再生するときにはDVDモードに切り替えてください。

SACDモード: **SACD** を再生

SACDモードインジケータが点灯します。

DVDモード: **DVD-A** **DVD-V** **VCD** **CD** を再生

DVDモードインジケータが点灯します。

※ ヒント

- SACDフォーマットと従来のCDフォーマットを1枚のディスクに記録したハイブリッドディスクの場合、SACDモードでSACDを再生、DVDモードでは従来のCD再生になります。

再生を止める

□キーを押す。

続き再生メモリー機能

本体ディスプレイに「▶」が点滅しているときは、止めた位置が記憶されています。

「▶」点滅中に▷キーを押すと、止めた位置から再生が始まります。続き再生メモリー機能を解除するには□キーをもう1度押して「▶」表示を消します。

DVDビデオ再生時にはあらかじめリプレイ機能の画面が表示されます。

ご注意

- ディスクトレイを出すと、続き再生メモリー機能は解除されます。

■ スロー再生する

DVD-A DVD-V VCD

静止(一時停止)中

リモコンの ◀◀ または ▶▶ キーを押すか本体の ◀◀/◀◀ または ▶▶/▶▶ キーを押し続ける。

◀◀(◀◀/◀◀)キー:戻る

▶▶(▶▶/▶▶)キー:進む

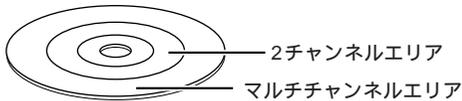
- ▶ を押すと、通常再生になります。
- 本体では押し続けると速くなりますが、リモコンでは繰り返し押ししても、押し続けても速くなります。

ご注意

- ビデオCDでは後戻りできません。

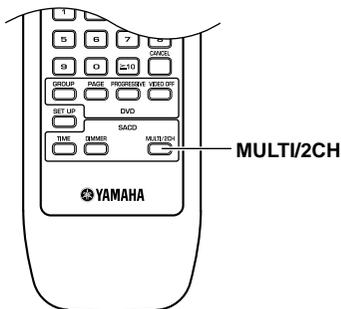
スーパーオーディオCDの再生について

スーパーオーディオCDは、ステレオ音声を記録した2チャンネルディスク、最大6つのチャンネルを記録したマルチチャンネルディスク、さらには1枚に2チャンネルエリアとマルチチャンネルエリアを収録したディスクがあります。



■ チャンネルエリアの切り替え

2つのエリアを持つディスクを再生するときは、お好みに合わせて切り替えてください。



(停止中に)MULTI/2CHキーを押す。
マルチチャンネルエリアを選択すると、ディスプレイのMULTI表示が、2チャンネルエリアを選択すると2CH表示が点灯します。

MP3の再生について

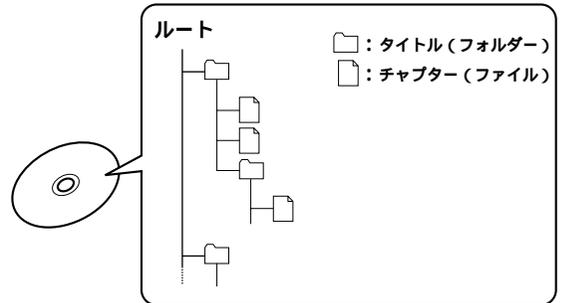
本機はコンピューターなどでCD-RやCD-RWに録音したMP3形式の音声を再生できます。ただし、録音状態によっては再生できないことがあります。

MP3形式で録音したディスクは下記の特長があります。

ディスク構成

複数のアルバムCDを一枚のディスクに録音できます。各フォルダは「タイトル」として、また、各フォルダに含まれるファイルは「チャプター」として記憶されます。

例:)



聞きたいチャプターからの再生

数字キーでチャプターを選択してから(「特定のトラックを選択する(11ページ)」を参照)、ENTERキーを押すと、聞きたいチャプターから再生できます。

リピート再生

チャプターリピートおよびタイトルリピート再生ができます。(18ページ)

ご注意

- 本機で再生できるのは、ビットレート32kbps ~ 320kbps サンプル周波数44.1kHzおよび48kHzで記録されたMP3ディスクです。(32kHzには対応していません)
- MP3ディスクではプログラム再生およびランダム再生はできません。
- チャプターは、録音時に意図した順番通りに再生できない場合があります。

再生中に下図のようにディスク情報をGUI画面にて表示できます。

全チャプター番号



現在のチャプター番号

経過時間(内容変更はできません)

■ プログレッシブ出力中に画面の位置を調整する

テレビ(モニター)によっては、本機からのプログレッシブ信号出力により、画面が中央からずれる場合があります。位置調整はリモコンにて下記の手順でおこなってください。

- 1 再生中に **00** キーを押して一時停止する。
- 2 「GUI画面の操作方法(20ページ)」の手順1で映像設定を選ぶ。
- 3 **<** または **>** キーで右端のアイコン()を選ぶ。
- 4 位置を調節する。
数字キーの1を押すと左へ動き、3を押すと右へ動きます。

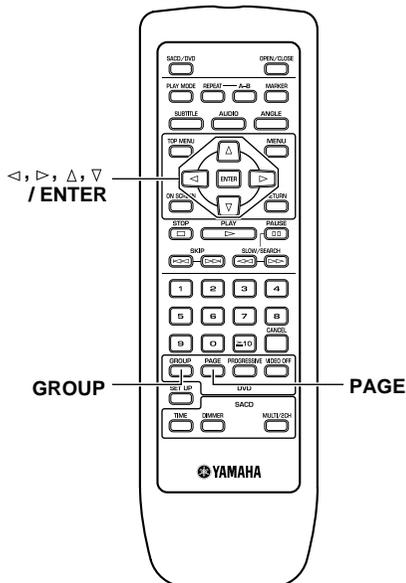


3を押すと右へ移動します。

- ・移動させた画面を元の位置に戻すには、2を押してください。
- ・PROGRESSIVEキーを押すと通常再生(インターレース出力)に切り替わり、映像が中央にあるかどうかを確認できます。

- 5 調節した位置を次のようにして記憶させる。
□ キーを押してからSETUPキーを押し、セットメニューを表示させ、もう一度SETUPキーまたはRETURNキーを押します。(これをしなくても、電源を切るまでは調節した位置は記憶されます。)

DVDオーディオ特有の機能について **DVD-A**



■ グループを選んでトラックを再生する

- 1 GROUPキーを押す。



テレビ(モニター)に表示されます。

- 2 **△** または **∇** キーでグループ番号を選び、ENTERキーを押す。
- 3 **△** または **∇** キーでトラック番号を選び、ENTERキーを押す。
選んだグループのトラックが再生されます。

※ ヒント

- ・グループ番号とトラック番号は数字キーで選ぶこともできます。

■ ボーナスグループを再生する

ディスクによっては、暗証番号を入力しないと再生できない「ボーナスグループ」を収録したものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

(停止中)

- 1 GROUPキーを押す。



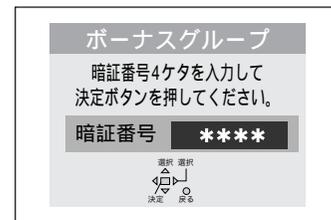
テレビ(モニター)に表示されます。

- 2 **△** または **∇** キーでボーナスグループを選び、ENTERキーまたは**>** キーを押す。
例 ボーナスグループがグループ9に入っている場合



- 3 数字キーで暗証番号(4ケタ)を入力し、ENTERキーを押す。

テレビ(モニター)表示例



- 4 **△** または **∇** キーでトラックを選び、ENTERキーを押す。

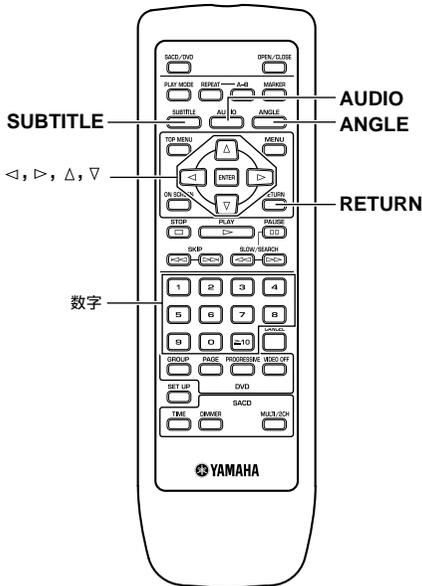
■ ページを変える

DVDオーディオは写真ギャラリー、アーティスト自伝や歌集を載せた、「ページ」と呼ばれる情報画面を含んでいます。この画面が映っているときに、PAGEキーを押すと、別のページに移ることができます。(ページが変わるとディスプレイにページ数が表示されます。)

音声、字幕言語、アングルを切り替える

DVD-A DVD-V VCD

ディスクによっては複数の音声、字幕、カメラアングルが収録されていることがあります。ディスクのジャケットをご参照ください。



■ 音声を切り替える

複数の言語または音声フォーマットを収録しているディスクでは、音声の切り替えができます。

(再生中)

AUDIOキーを押す。



テレビ(モニター)に表示されます。

- AUDIOキーを繰り返し押すか、△、▽キーまたは数字キーを押してトラックを変えます。

※ ヒント

- DVDオーディオ(動画部分以外)では、音声が変わると、静止画表示中に流れる音の先頭に戻ります。
- DVDオーディオの場合、選んだ音声番号は1種類の音声しか収録されていない場合、通常、番号2まで表示します。
- カラオケディスクでは、ボーカルの「入」切」ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

■ 字幕言語を切り替える

(再生中)

SUBTITLEキーを押す。



テレビ(モニター)に表示されます。

- 字幕言語を切り替えるには、SUBTITLEキーを繰り返し押すか、△、▽キーまたは数字キーを押してください。

※ ヒント

- 字幕言語が記録されていないときには「- -」が表示されます。

ご注意

- 切り替えた後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

字幕を「入」切」するには

- 1 SUBTITLEキーを押す。
- 2 (DVDオーディオ/DVDビデオの場合には) ▷ キーを押す。
- 3 △ または ▽ キーで「入」、「切」を選ぶ。

■ アングルを切り替える

(再生中)

ANGLEキーを押す。



テレビ(モニター)に表示されます。

- アングルを切り替えるには、ANGLEキーを繰り返し押すか、△、▽キーまたは数字キーを押してください。

■ 音声、字幕、アングルの画面表示を消すには

RETURNキーを押す

ご注意

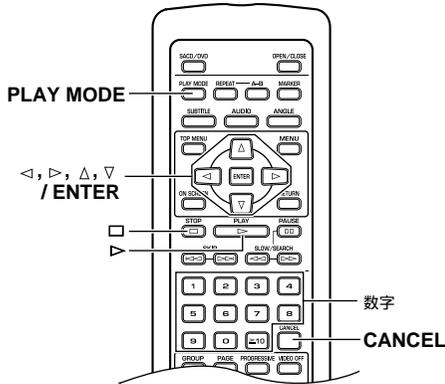
- ディスクによってはディスクメニューでのみ音声、字幕、アングルの切り替えができる場合があります。

ディスクを再生する

お好みの順に再生する (プログラム再生)

SACD **DVD-A** **VCD** **CD**

トラック予約で、ディスクから選んだお好みのトラックを最大32トラックまでお好きな順でお楽しみいただけます。



1 □ キーを押して再生を止める。

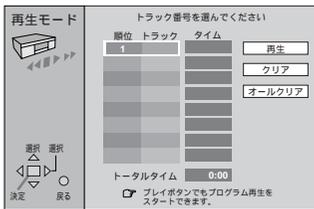
2 PLAY MODEキーを繰り返し押して、プログラム画面を選択する。

DVD-A **VCD** **CD**

キーを押すたびにテレビ (モニター) 表示が下記のように切り替わります。

テレビ (モニター) 表示例 :

プログラム画面 (プログラム再生モード)
お好みの順に再生する



ランダム画面 (ランダム再生モード):
順不同に再生する

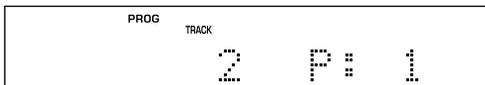
通常再生に戻る

SACD

キーを押すたびに本体ディスプレイに下記の表示が点灯します。



例)プログラム再生



3 数字キーでトラック番号を入力する。

4 ▷ キーを押す。
プログラム再生がはじまります。

ご注意 **SACD**

- 2チャンネル、マルチチャンネル両方のエリアを持つディスクの場合、選択されているエリア内のトラックのみプログラムできます。
- 入力中に □ キーを押すと、オールクリア (全プログラムを取り消し) になります。

※ ヒント

- 数字キーでグループやトラックを選ぶこともできます。

DVD-A

- 手順2にオールグループ再生 (全てのグループを順に再生) の画面が加わります。
- 手順4で Δ または ∇ キーでグループを選び、ENTERキーを押したあと、Δ または ∇ キーでトラックを選びENTERキーを押してください。

■ プログラム再生中に予約を変更・追加する

1 □ キーを押して、プログラム再生を止める。

2 もう1度 □ キーを押して続き再生メモリーを解除する。

3 Δ または ∇ キーで項目 (順位) を選ぶ。

4 数字キーでトラック番号を入力する。

■ プログラム再生中に予約を取り消すには

1 □ キーを押してプログラム再生を止める。

2 もう1度 □ キーを押して続き再生メモリーを解除する。

3 Δ または ∇ キーで取り消したい項目 (順位) を選ぶ。

ご注意

- SACDでは、手順2の後でもう1度 □ キーを押すとオールクリア (全プログラムを取り消し) になります。

4 CANCELキーを押す。

ご注意

- SACDでは、手順2の後でもう1度 □ キーを押すとオールクリア (全プログラムを取り消し) になります。
- ビデオCDのプレイバックコントロール機能は、プログラム再生中には自動的に取り消されます。

■ プログラム画面のページを上下に移動する

◀◀ キーを押すと上へ、▶▶ キーを押すと下へ、ページが移動します。

■ プログラム再生中に通常の再生に戻すには

1 プログラム再生中に、□ キーを数回押して再生を止める。

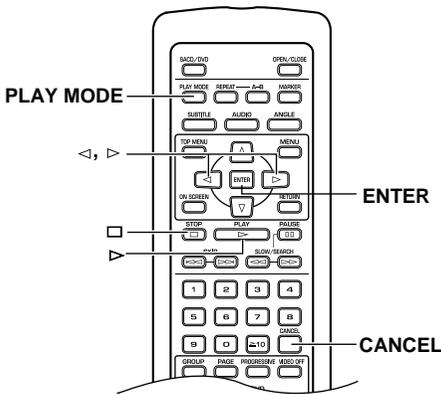
2 PLAY MODEキーを2回押す。

- 電源を切るか、ディスクトレイを開けると全ての予約が取り消されます。

順不同に再生する (ランダム再生)

SACD **DVD-A** **VCD** **CD**

本機におまかせの順番で再生されます。



1 □ を押して再生を止める。

2 PLAY MODEキーを数回押す。
RNDM表示が本体ディスプレイに点灯します。

3 ▶ キーを押す。
ランダム再生が始まります。

■ ランダム再生中に通常の再生に戻すには

1 ランダム再生中、□ キーを数回押して再生を止める。

2 PLAY MODEキーを押す。
本体ディスプレイのRNDM表示が消灯します。
・ディスクトレイを開けると、ランダム再生モードは取り消されます。

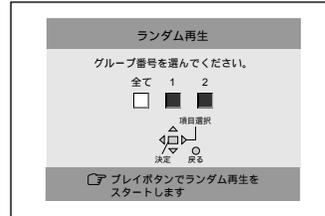
ご注意

- ビデオCDのプレイバックコントロール機能は、ランダム再生中には自動的に取り消されます。
- SACD再生時のランダム対象トラック数は最大100曲までです。

DVD-A

ランダム再生の手順2のときに、◀または▶ キーでグループを選び、ENTERキーを押してください。

例) DVDオーディオ(グループが2まであるディスク)



※ ヒント

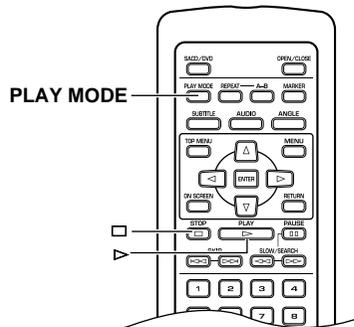
- 複数選べます。
- 数字キーで選ぶこともできます。

選択中に、選んだグループを取り消すには、◀ または ▶ キーで取り消すグループを選んでからCANCELキーまたはENTERキーを押してください。

※ ヒント

- 数字キーで取り消す番号を入力しても取り消すことができます。

すべてのグループを順に再生する (オールグループ再生) **DVD-A**



1 □ キーを押して再生を止める。

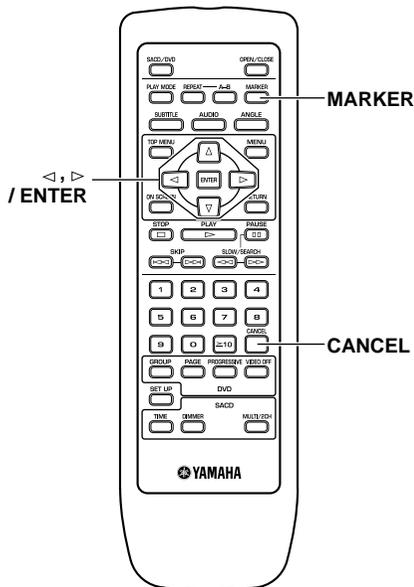
2 PLAY MODEキーを押す。

3 ▶ キーを押す。

お好みの位置を記憶させる (マーカー)

DVD-A DVD-V VCD CD

再び見たい(聞きたい)箇所(箇所)にマークを付けておくと、後でそこから再生することができます。(マーカーは5個まで付けられます。)



1 MARKERキーを押す。

ハイライト  テレビ(モニター)に表示されます。

2 < または > キーで“*”を選ぶ。 選んだ“*”がハイライトされます。

3 ENTERキーを押す。 選んだ“*”がマーカー番号に変わります。

マーカー番号 

■ マークした位置から再生するには

< または > キーを押してマーカー番号を選び、ENTERキーを押します。

■ マーカーを取り消すには

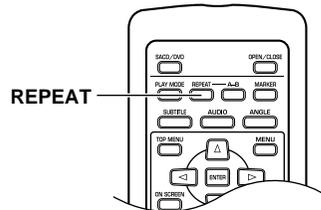
< または > キーを押してマーカー番号を選び、CANCELキーを押します。

ご注意

・電源を切るか、ディスクトレイを開けると全てのマーカーが取り消されます。

繰り返し再生する (リピート再生)

SACD DVD-A DVD-V VCD CD



(再生中)

REPEATキーを押し、リピートモードを選択する。押すたびに下記のようにリピートモードが切り替わります。



リピートモードの表示は下記ようになります。

	モニター表示	本体ディスプレイ表示*
チャプター	C	REP
タイトル	T	REP
トラック	T	REP
オール	A	REP、ALL
グループ	G	REP

* 選択されたリピートモード名がメイン表示部をスクロールします。

 テレビ(モニター)に表示されます

ご注意

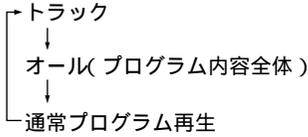
- ・DVDビデオによっては、リピート再生を正しくできないことがあります。
- ・プレイバックコントロール機能を使ったビデオCDのメニュー再生中は、リピート再生ができないことがあります。
- ・スーパーオーディオCDは、本体ディスプレイ表示のみになります。
- ・2チャンネル、マルチチャンネル両方のエリアを持つディスクで、オールリピートする場合、選択されているエリア内のトラックのみリピートします。

■ お好みのトラックをリピート再生する (プログラムリピート再生)

SACD DVD-A VCD CD

(プログラム再生中)

REPEATキーを押す。
キーを押すたびに下記のようにリピートモードが切り替わります。



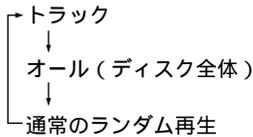
- ・ 選択されているモードがモニター(DVDオーディオ、ビデオCD、CDのみ)と本体ディスプレイに表示されます。

■ 順不同に繰り返し再生する (ランダムリピート再生)

SACD DVD-A VCD CD

(ランダム再生中)

REPEATキーを押す。
キーを押すたびに下記のようにリピートモードが切り替わります。

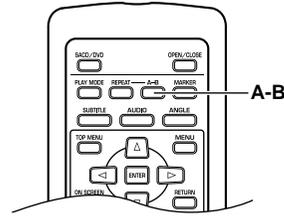


- ・ 選択されているモードがモニター(DVDオーディオ、ビデオCD、CDのみ)と本体ディスプレイに表示されます。

お好みの場所を繰り返し再生する (A-Bリピート再生)

SACD DVD-A DVD-V VCD CD

タイトルやトラック内でお好みの2点(A点とB点)を指定して、その2点間を繰り返し再生することができます。



(再生中)

- 1 A-Bキーを押す。
開始場所A点を指定します。



テレビ(モニター)に表示されます。

- ・ 本体ディスプレイにREPとA-が点灯し、Bが点滅します。

- 2 A-Bキーを押す。
終了場所B点を指定し、A-Bリピート再生が始まります。



テレビ(モニター)に表示されます。

- ・ 本体ディスプレイのBが点滅から点灯にかわり、A点、B点間を繰り返し再生します。

■ A-Bリピート再生中に通常の再生に戻すには

A-Bキーを押す。



テレビ(モニター)に表示されます。

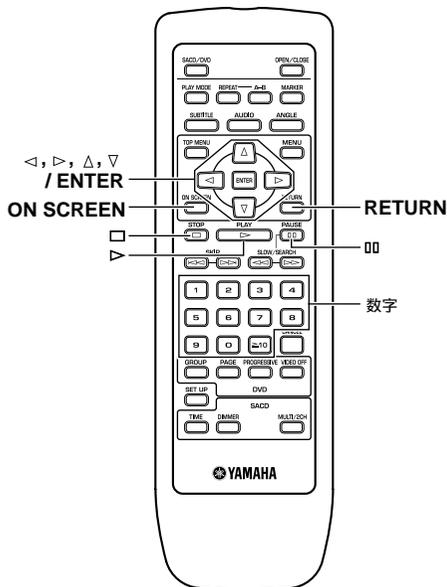
ご注意

- ・ DVDビデオによっては、A-Bリピート再生できないものもあります。
- ・ タイトルトラックをまったくA-Bリピート再生はできません。
- ・ スーパーオーディオCDは、本体ディスプレイ表示のみになります。

絵表示(GUI画面)を使って操作する(DVDモードのみ)

ジーユーアイ グラフィカル ユーザー インターフェイス

GUK Graphical User Interface)とは「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合はディスクや本機の情報などを表示するテレビ(モニター)画面を「GUI画面」と呼びます。情報を確認しながら内容を変更できます。



GUI画面の操作方法

1 ON SCREENキーを押して、下記の①②③から選ぶ。

ON SCREENキーを押すたびにGUI画面が下記のように切り替わります。

① <ディスク情報画面>



② <本機情報画面> (再生設定)



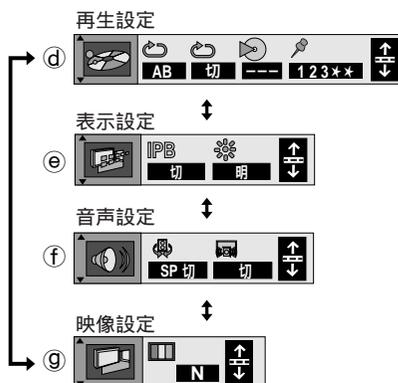
③ <シャトル画面>



GUI表示なし

(⑥を選んだ場合には)

△ または ▽ キーを押して項目を切り替えて下記の4項目から選ぶ。



2 < または > キーを押して、調整したい項目を選ぶ。
選択した項目がハイライト(明るく表示)されます。

3 △、▽、<、> キーを押して設定を変更する。
変更できないときは、ENTERキーまたは> キーを押してください。
ディスクにより、チャプターを選ぶときには、数字キーでも変更できる場合があります。

画面表示を消すには

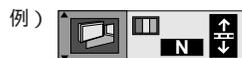
RETURNキーを数回押して、GUI画面を消す。

ご注意

・ ディスクにより、停止中は操作できない場合があります。

GUI画面の位置を変えるには

1 < または > キーで右端のアイコンを選ぶ。



2 △ または ▽ キーを押して、GUI画面を動かす。

ディスク情報画面の表示例

例 DVDビデオの場合



アイコン	内容
	タイトル番号 DVD-V トラック番号 DVD-A VCD CD
	チャプター番号 DVD-V
	グループ番号 DVD-A
	経過時間 DVD-A DVD-V 数字キーで指定した時間から再生します。例)1時間46分50秒から再生するときは[1] [4] [6] [5] [0] [ENTER]を押します。
	時間表示 DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 →トラックの経過時間 ↓ トラックの残り時間 ↓ →ディスクの残り時間
	音声チャンネル VCD チャンネルを選ぶとそのチャンネルから音が出ます。 (右左) (左) (右) LR ←→ L ←→ R
例) DVDビデオ 	音声番号 DVD-A DVD-V ① オーディオトラック番号 ② 音声/字幕言語 (右記 A) ③ 音声属性 (右記 B)
	カラオケボーカル「入」「切」 DVD-A DVD-V (カラオケDVDのみ) ソロ:切↔入 デュエット: 切↔V1 + V2 ↔V1↔V2

ご注意

- ・ ディスクによっては表示が異なることがあります。
- ・ プログラム再生中やランダム再生中には、ディスクの残り時間は表示されません。
- ・ プレイバックコントロール機能を使ってビデオCD再生する場合には、トラック番号や時間は表示されません。

アイコン	内容
	DVD-A DVD-V ① 字幕「入」「切」 字幕を「入」「切」します。 ② 字幕言語 番号を選ぶとその字幕を表示します。
	アングル番号 DVD-A DVD-V 番号を選ぶとそのアングルを再生します。
	プレイバックコントロール (PBC) 「入」「切」表示 VCD (PBC対応のみ) 内容変更は出来ません。
	静止画番号 DVD-A 番号を選ぶとその画像を再生します。

A	音声/字幕言語
日:	日本語
伊:	イタリア語
露:	ロシア語
英:	英語
西:	スペイン語
韓:	韓国語
仏:	フランス語
蘭:	オランダ語
*	その他
独:	ドイツ語
中:	中国語

B	音声属性
LPCM/PPCM (パケットPCM) / DolbyDigital/DTS/MPEG:信号タイプ k (kHz):サンプリング周波数 b (bit):ビット数 ch (channel):チャンネル数	
例: 3/2.1ch	
1:	サブウーファー (サブウーファー信号が入力していないときは表示されません。)
0:	リアチャンネルは使用できません。
1:	リアチャンネル(モノラル)
2:	リアチャンネル(左、右)
1:	メインチャンネル(モノラル)
2:	メインチャンネル(左、右)
3:	メインチャンネル(左、右)+センター

ディスクを再生する

本機情報画面の表示例

再生設定

例 DVDビデオの場合



アイコン	内容
	A-B リピート再生 (19ページ) DVD-A DVD-V VCD CD 再生中、ENTERキーを押すたびに「始点を指定 終点を指定 再生」します。 取り消すにはENTERキーを押します。
	リピート再生 (18ページ) DVD-V C:(チャプター) T:(タイトル) 切:(通常再生) DVD-A VCD CD T:(トラック) A:(ディスク全体) G:(グループ全体) 切:(通常再生)
	再生モード表示 DVD-A VCD CD 内容変更はできません。 RND:ランダム再生 PGM:プログラム再生 - - -:通常再生 ALL:オールグループ DVD-A
	マーカー DVD-A DVD-V VCD CD もう一度再生したいところにマークをつけます。(18ページ) 最大5箇所 再生中、<または>キーを押し、マークをつけたいところでENTERキーを押します。 マークを呼び出すには<または>キーでマークを選び、ENTERキーを押します。 マークを取り消すには<または>キーでマークを選び、CANCELキーを押します。

表示設定

例 DVDビデオの場合



アイコン	内容
	IPB表示 DVD-V 「入」↔「切」 各「I」「P」「B」は静止画の種類をあらわし、画像に含まれるデータ量が多いのは「I」「P」「B」の順になります。 より正確に画質調節をするには「I」の静止画が最適です。
	FLディマー 本体ディスプレイの明るさを調節します。 明 ←→ 暗 ←→ オート ↑ ↓ オートに設定すると、映像が収録されているディスクを再生中には暗くなります。一時停止などの操作をすると、一時的に明るくなります。

音声設定

例 DVDビデオの場合



アイコン	内容
	バーチャルサラウンド V.S.S. DVD-V VCD <ul style="list-style-type: none"> ・スピーカーV.S.S (SP-V.S.S.) ドルビーデジタル / DTS / MPEG / LPCM 2ch以上のディスク ・ヘッドフォンV.S.S (HP-V.S.S.) ドルビーデジタル / MPEG / LPCM 2ch以上のディスク ----- V.S.S.レベル SP 1/HP 1 : 標準 SP 2/HP 2 : 強 SP 切/HP 切 : V.S.S.解除
	ダイアログエンハンサー「入」「切」 DVD-V (ドルビーデジタル/DTS 3ch以上のディスク) 「入」を選ぶとセンターチャンネルのセリフの音量が上がります。

映像設定



アイコン	内容
	<p>画質モード DVD-A DVD-V VCD</p> <p>N:通常画質 C:シネマ画質(映画鑑賞に適した画質) U:ユーザー画質</p> <p>ユーザー画質を調節するには ① ユーザー画質モードを選びます。 ② <または> キーで変更したい下記の項目を選びます。 ③ △ または ▽ キーで設定を変更します。</p> <p>Uを選ぶと下記の項目も表示されます。</p>
	<p>コントラスト (-7 ~ +7) 映像の明るい部分と暗い部分に強弱をつけます。</p>
	<p>明るさ (0 ~ +15) 画面全体を明るくします。(映像の明るさを調節します。)</p>
	<p>カラー (-7 ~ +7) 色の濃さを調節します。</p>

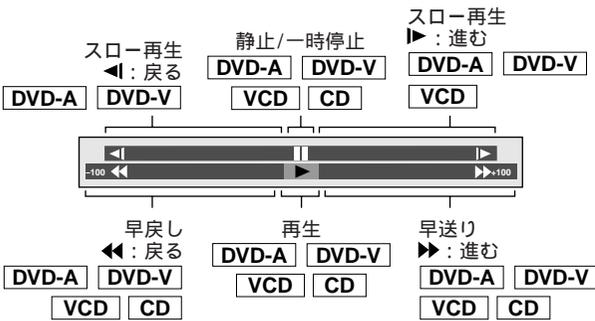
プログレッシブがオンのときには



アイコン	内容
	<p>画質モード DVD-A DVD-V VCD</p> <p>N:通常画質 C:シネマ画質(映画鑑賞に適した画質)</p>
	<p>変換モード DVDソフトの映像情報(24コマ/秒で記録されている「フィルム素材」と、30コマ/秒で記録されている「ビデオ素材」)を、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。 Auto(標準):フィルム素材に適した変換 Video:ビデオ素材に適した変換</p>

ディスクを再生する

シャトル画面の表示例



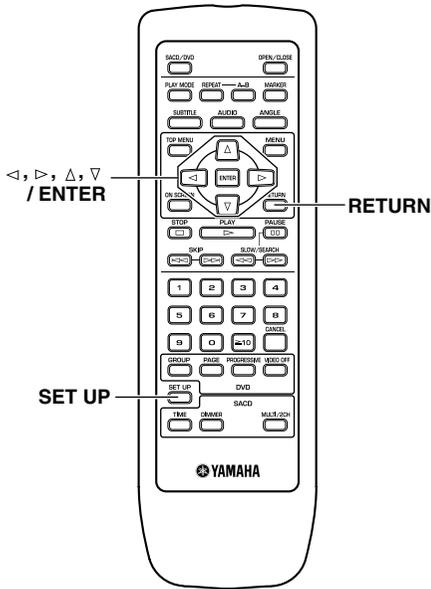
ご注意

- DVDオーディオのスロー再生は、動画を再生しているときのみ可能です。

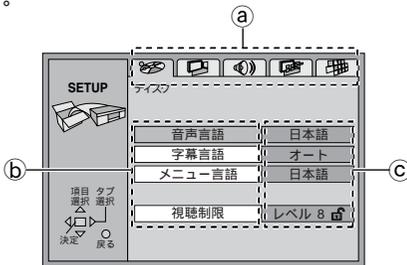
DVDモードの設定を変更する

セットアップメニューで、お好みに合わせて設定を変更できます。

設定方法



- 1** SETUPキーを押す。
セットアップ画面がテレビ(モニター)に表示されます。



- タブ(メニュー項目)**
ディスク、映像、音声、画面表示、その他で構成される初期設定のメニュー項目です。このタブを選ぶことで、各項目の設定画面を呼び出します。
- 設定項目**
選択したタブ内の設定項目です。
- 設定内容**
設定項目の設定状態を表示します。

- 2** ◀または▶キーで設定したいタブを選ぶ。



- 3** △または▽キーで設定項目を選び、ENTERキーを押す。
設定内容画面が表示されます。

- 4** △または▽キーで設定内容を選び、ENTERキーを押す。
ENTERキーを押すと、手順2の画面に戻ります。

■ ひとつ前の操作画面に戻るには

RETURNキーを押す。

■ 設定を終了するには

SETUPキーを押す。

■ すべての設定を工場出荷時に戻すには

本体の △ キー、 □□ キー、 ◀◀/▶▶ キーを同時に押し続ける。
(テレビ(モニター)画面に「オールクリア」が表示されます。)

セットアップメニュー一覧表

アミのかかった項目は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目	設定項目	設定内容
ディスク	音声言語 DVD-A DVD-V 言語(音声)が選べます。	日本語 英語 オリジナル ¹ その他**** ²
	字幕言語 DVD-A DVD-V 言語(字幕)が選べます。	オート ³ 日本語 英語 その他**** ²
	メニュー言語 DVD-A DVD-V メニューなど、テレビ画面に表示される言語が選べます。	日本語 英語 その他**** ²
	視聴制限 DVD-V 視聴が制限できます。(27ページ)	レベル8 レベル7~1 レベル0 ロック解除 暗証番号変更 レベル変更 一時解除
映像	TV アスペクト お使いのテレビ(モニター)のサイズに合った画面表示方法が選べます。	4:3 パン&スキャン:標準比のモニターでワイドのソフト再生時、映像の左右をカットして画面いっぱいに表示します。 4:3 レターボックス:上記のとき、画面の上下に黒い帯を入れ16:9の映像を表示します。 16:9:ワイドテレビの時
	スチルモード 静止画像の表示方法が選べます。	オート フィールド フレーム フレームとは、テレビの1枚の画面のことで、1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。 フィールドスチルは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレは生じません。 フレームスチルは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。 通常はオートに設定してください。
	S端子出力S1/S2のモード 接続するテレビ(モニター)のSビデオ入力端子の種類に合わせて設定します。	S1 S2
音声	スピーカー設定 DVD-A DVD-V 本機のアナログ音声端子(6CH DISCRETE、MIXED 2CH)からの出力ついて、スピーカーシステムに合わせた設定をします。	マルチチャンネル 6CH DISCRETE端子から出力するとき (各スピーカーの有無やサイズ、ディレイタイム、チャンネルバランスも設定します。28ページ) 2チャンネル MIXED 2CH端子から出力するとき
	PCM ダウンサンプリング変換 DVD-A DVD-V 接続に応じて著作権保護処理のされていないディスクの音声信号の出力方法が選べます。(27ページ)	しない する
	Dolby Digital DVD-A DVD-V 接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態(Bitstream)で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態(PCM 2ch)に処理して出力するかを選べます。	Bitstream PCM
	DTS Digital Surround DVD-A DVD-V 上記のドルビーデジタルと同様の選択を、DTS 信号に対して行えます。	Bitstream PCM
	音声のダイナミックレンジ圧縮 DVD-A DVD-V (ドルビーデジタルのみ) 小音量でも映画のセリフを聞き取りやすくします。	切 入
	早送り時の音声 DVD-A DVD-V VCD 早送りする時、音声が聞こえるようにする/しないが選べます。 ドルビーデジタルやDTSのソフトで早送りの音が歪むときは「なし」に設定してください。DVDオーディオでは「なし」に設定していても聞こえる場合があります。	あり なし

メニュー項目	設定項目	設定内容
画面表示	画面メニュー言語 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語が選べます。	日本語 English(英語)
	画面メッセージ 操作時にテレビ画面にメッセージを表示する/しないが選べます。	入 切
その他	DVDビデオモード DVDオーディオディスクの中には、一部のDVDビデオプレーヤーでのみ再生できるDVDビデオの内容を含むものがあります。	しない する DVDビデオの内容を楽しむには、このモードを「する」にして設定してください。 通常のDVDオーディオディスクを再生する場合は、「しない」に設定してください。
	デモモード 「する」を選ぶと、テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。(デモは、リモコン本体の□キーなどを押すと停止し、設定は「しない」に戻ります。)	しない する

¹ 「オリジナル」: ディスクの最優先言語が選ばれます。

² その他 * * * * : 数字キーで言語番号を入力します。(言語番号一覧表参照)

³ 「音声言語」で選んだ音声はディスクに収録されておらず、代わりにその言語の字幕が収録されている場合には、字幕を表示します。また、音声は収録されている場合には、音声が出て字幕は表示されません。

■ 音声言語/字幕言語/メニュー言語について

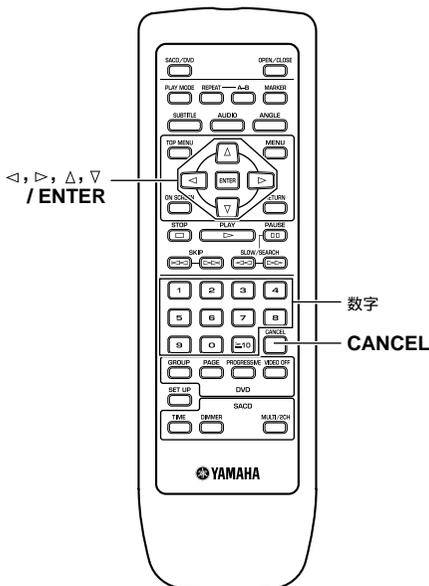
言語番号一覧表							
アイスランド	:7383	カンボジア	:7577	タガログ	:8476	ブルターニュ	:6682
アイマラ	:6588	キルギス	:7589	タジク	:8471	ヘブライ	:7387
アイルランド	:7165	ギリシャ	:6976	チェコ	:6783	ベトナム	:8673
アゼルバイジャン	:6590	クルド	:7585	中国語	:9072	ペロルシア(白ロシア)	
アッサム	:6583	クロアチア	:7282	チベット	:6679		:6669
アフアル	:6565	グアラニー	:7178	ティグリニア	:8473	ベンガル(バングラ)	
アフリカーンス	:6570	グジャラト	:7185	テルグ	:8469		:6678
アブハジア	:6566	グリーンランド	:7576	デンマーク	:6865	ベルシャ	:7065
アムハラ	:6577	グルジア	:7565	トウイ	:8487	ポーランド	:8076
アラビア	:6582	ケチュア	:8185	トルクメン	:8475	ポルトガル	:8084
アルバニア	:8381	ゲール(スコットランド)		トルコ	:8482	マオリ	:7773
アルメニア	:7289		:7168	トンガ	:8479	マケドニア	:7775
イタリヤ	:7384	コーサ	:8872	ドイツ	:6869	マライ(マレー)	:7783
イディッシュ	:7473	コルシカ	:6779	ナウル	:7865	マラッタ	:7782
インターリングア	:7365	サモア	:8377	日本語	:7465	マラヤーラム	:7776
インドネシア	:7378	サンスクリット	:8365	ネパール	:7869	マルタ	:7784
ウェールズ	:6789	シヨナ	:8378	ノルウェー	:7879	マダガスカル	:7771
ウォロフ	:8779	シンド	:8368	ハウサ	:7265	モルダビア	:7779
ヴォラビュック	:8679	シンハラ	:8373	ハンガリー	:7285	モンゴル	:7778
ウクライナ	:8575	ジャワ	:7487	バシキール	:6665	ヨルバ	:8979
ウズベク	:8590	スウェーデン	:8386	バスク	:6985	ラオ	:7679
ウルドゥー	:8582	スロバキア	:8375	バシュト	:8083	ラテン	:7665
英語	:6978	スロベニア	:8376	パンジャブ	:8065	ラトビア(レット)	:7686
エストニア	:6984	スワヒリ	:8387	ヒンディー	:7273	リトアニア	:7684
エスペラント	:6979	スンダ	:8385	ビハール	:6672	リンガラ	:7678
オーリヤ	:7982	スペイン	:6983	ビルマ	:7789	ルーマニア	:8279
オランダ	:7876	ズールー	:9085	フィジー	:7074	レトロマンズ	:8277
カザフ	:7575	セルビア	:8382	フィンランド	:7073	ロシア	:8285
カシミール	:7583	セルボクロアチア	:8372	フェロー	:7079		
カタロニア	:6765	ソマリ	:8379	フランス	:7082		
ガリチア	:7176	タイ	:8472	フリジア	:7089		
韓国(朝鮮)語	:7579	タター	:8484	ブータン	:6890		
カナダ	:7578	タミル	:8465	ブルガリア	:6671		

ご注意

・ セットアップメニューで設定した言語が、ディスクに収録されていない場合は、設定した言語で再生することはできません。

視聴制限 DVD-V

視聴制限はレベル0～8の9段階に設置できます。(数字が小さくなるにつれて制限レベルがきびしくなります。)

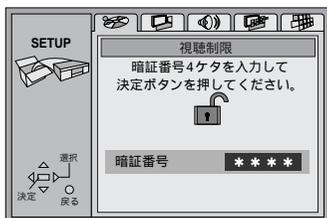


■ 視聴制限レベルを設定する(レベル8のとき)

お子さまなどに見せたくないDVDビデオを無断で再生されないように設定できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

レベル0～7のうちいずれかのレベルを選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 1 SETUPキーを押す。
セットアップ画面がテレビ(モニター)に表示されます。
- 2 ∇キーで「視聴制限」を選んで、ENTERキーを押す。
- 3 数字キーで暗証番号(4ケタ)を入力し、ENTERキーを押す。
間違った数字を入力したときは、CANCELキーを押してください。
暗証番号は忘れないでください。



- 4 もう一度、ENTERキーを押す。
(暗証番号が確定し、ロックがかかります。)
設定した視聴制限レベルを超えたDVDビデオを再生すると、メッセージがテレビ画面に表示されます。そのときは画面の指示に従ってください。
ENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

■ 制限内容を変更する(レベル0～7のとき)

セットアップメニュー画面で「視聴制限」を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 1 数字キーで暗証番号(4ケタ)を入力し、ENTERキーを押す。
ロック解除: 制限を解除してレベル8に戻す。
暗証番号変更: 暗証番号を変更する。
レベル変更: 制限レベルを変更する。
一時解除: 一時的に制限レベルを解除する。(電源を切るか、ディスクトレイを開けるまで一時解除の状態が続きます。)
- 2 Δまたは∇キーで項目を選び、ENTERキーを押す。

視聴制限で設定した暗証番号を忘れたら工場出荷時の設定に戻してください。(24ページ)

ご注意

- 暗証番号以外の設定も工場出荷時の設定に戻ります。

PCM ダウンサンプリング変換

DVD-A DVD-V

著作権保護処理されていないディスクの高音質デジタル信号(サンプリング周波数96kHzおよび88.2kHz)の出力方法を選びます。

接続先の機器(アンプなど)がこれらの信号に対応しているかどうかによって設定してください。

接続機器が 88.2 kHz 以上の 信号に	PCMダウン サンプリング 変換	デジタル出力
対応している	「しない」に設定	そのまま出力
対応していない	「する」に設定	48 kHz または 44.1 kHz に変換し て出力

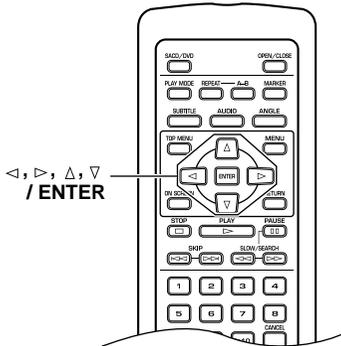
88.2kHz以上の信号に対応していない外部機器にデジタル信号を入力する場合のみ「する」に設定してください。(「しない」に設定すると、88.2kHz以上の音声は出力されません。)

ご注意

- 176.4kHz以上の信号や、著作権保護処理がされているディスクの高音質信号は、上記の設定に関係なく、48kHzまたは44.1kHzにダウンサンプリング変換して出力されます。

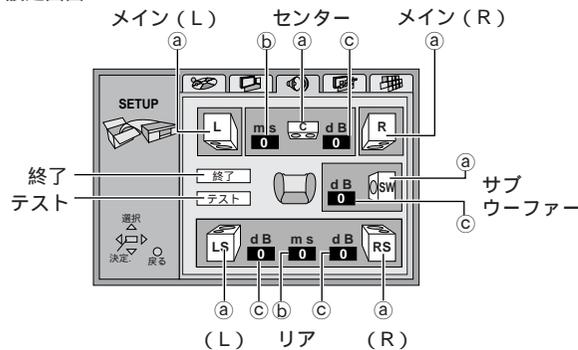
スピーカー設定 DVD-A DVD-V

本機の6CH DISCRETE音声端子からの出力ついて、スピーカーシステムに合わせた設定をします。



セットアップメニューで「マルチチャンネル」を選んだとき、ご使用のスピーカーに応じて、以下の①②③の設定が必要になります。

設定画面



① スピーカーの有無とサイズ

1 △、▽、◀、▶ キーで項目を選び ENTER キーを押す。
スピーカーアイコンの上下に◀▶が表示されます。

2 △ または ▽ キーで内容を変更し、ENTER キーを押す。

スピーカーサイズ選択項目

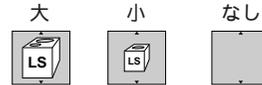
- L: 大、小
- R: 大、小
- C: 大、小、なし
- SW: あり、なし
- LS: 大、小、なし
- RS: 大、小、なし

L、RとLS、RSは片方のスピーカーサイズ選択がもう片方にも適応されます。

- 大: スピーカーが100Hz以下を再生できるとき
- 小: スピーカーが100Hz以下を再生できないとき

- ・ 工場出荷時のスピーカーサイズ
L/R: 大
C/LS/RS: 大
SW: あり

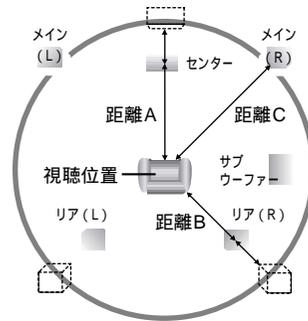
・ LSの場合の表示例



② デイレイタイム

(ドルビーデジタルで記録されたDVDビデオのセンター/リアチャンネルのみ)

5.1ch音声を楽しむには、すべてのスピーカー(サブウーファーは除く)を下記のように円上に置くのが理想的です。置けない場合は、デイレイタイムの設定をすると音声出力に遅延効果を与え仮想的に理想の視聴位置を実現します。



1 △、▽、◀、▶ キーでmsを選びENTERキーを押す。

2 △ または ▽ キーでデイレイタイムを調整し、ENTERキーを押す。

・ 設定値

距離A, 距離B 距離C: 0 ms

距離A, 距離B < 距離C: 下記の設定を行う

センター

距離の差	設定値
約50 cm	1.3 ms
約100 cm	2.6 ms
約150 cm	3.9 ms
約200 cm	5.3 ms

リア

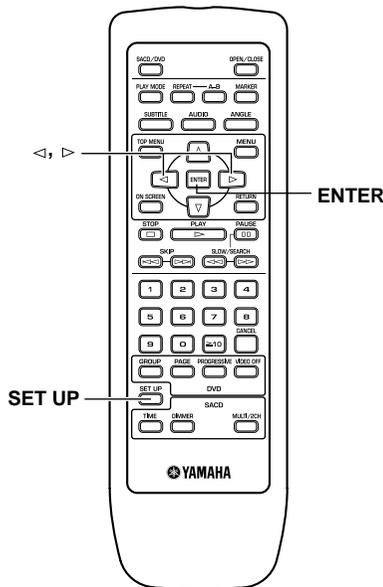
距離の差	設定値
約200 cm	5.3 ms
約400 cm	10.6 ms
約600 cm	15.9 ms

SACDモードの設定を変更する

本機はDVDモードとSACDモードで独立した再生回路を搭載しております。DVDモードでの設定はSACDモードでは無効ですので、SACDモードでの設定、調節が必要になります。

スピーカー設定

スーパーオーディオCDのより効果的なマルチチャンネル再生のために、使用されるスピーカーや再生環境にあわせてSACDモードでスピーカー設定をしてください。スピーカーモードの設定と、スピーカーバランスの調節があります。



■ スピーカーモードの設定

ご使用になるスピーカーの有無とサイズによって設定してください。

- 1** SETUPキーを押す。
本体ディスプレイにSPK MODE(スピーカーモード)が表示されます。
- 2** ENTERキーを押す。
本体ディスプレイに現在の設定が表示されます。

- 3** <または>キーを押して設定を変える。
キーを押すたびに、スピーカーモード(本体ディスプレイの設定表示)が表のように切り替わります。

スピーカーモード表

スピーカーモード	メインスピーカー	センタースピーカー	リアスピーカー	サブウーファー
MLTCH DIRECT	録音された通りの音声信号が出力されます。			
5-LRG	大	大	大	無
5-SML +SW	小	小	小	有
MAIN-LRG +SW	大	小	小	有
MAIN-LRG	大	小	小	無
NON-C +SW	大	無	大	有
NON-C	大	無	大	無

モードの選びかた:

ご使用のスピーカーの有無、性能にあわせて選びます。

「大」になっているスピーカーには、90Hz以下の低音域を含むすべての信号が出力されます。低音域の再生能力が高い大きなスピーカー(ウーファーの口径16cm以上が目安です)をご使用のとき、そのスピーカーが「大」になっているモードを選んでください。

「小」になっているスピーカーチャンネルの低音域は、サブウーファーやメインスピーカー(大のとき)に出力されます。低音の再生が不十分に感じられたり、音が割れたりする場合は、そのスピーカーが「小」になっているモードを選んでください。

- 4** ENTERキーを押して、モードを決定する。

- 5** SETUPキーを押す。
通常表示に戻ります。

■ スピーカーバランスの調節

各スピーカーの音量レベルが異なるとき、テストトーンを使ってメインスピーカーと同じ音量で聞こえるように調節します。

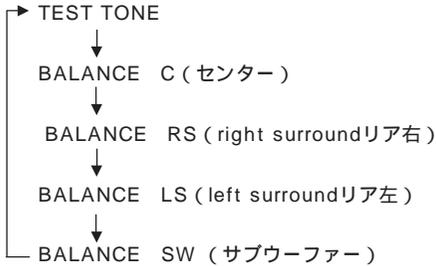
- スピーカーモードがMULTI DIRECTのときは調節できません。
- スピーカーモードを変更すると、それ以前に調節された値は初期化されます。

- 1** SETUPキーを押す。
- 2** <または>キーを押してSPK BALANCE(スピーカーバランス)を選ぶ。
キーを押すたびに、本体ディスプレイの設定項目がSPK MODE(スピーカーモード)かSPK BALANCE(スピーカーバランス)に切り替わります。
- 3** ENTERキーを押す。
本体ディスプレイにTEST TONEが表示されます。

- 4** ENTERキーを押す。
テストトーンが下図の順番で約2秒ずつ出力されます。



- 5** まずENTERキーを押してテストトーンを止めてから、◀または▶キーを押して調節したいスピーカーを選び、ENTERキーを押す。
◀、▶キーを押すたびに、本体ディスプレイの表示が下記のように切り替わります。



例:リア(右)スピーカーを調節する場合

BALANCE RSを選んでENTERキーを押すと、本体ディスプレイが下記の表示になり、左右メインスピーカーとリア(右)スピーカーから同時にテストトーンが出力されます。

L/R-----+-----RS

ご注意

- メインスピーカーを基準として、相対的にエフェクトスピーカー(センター、リア左右)を調節するので、メインスピーカーの調節はできません。
- 選択されているスピーカーモードで「無」になっているスピーカーからはテストトーンは出力されず調節もできません。

- 6** ◀または▶キーを押して音量バランスを調節する。
キーを押すたびにディスプレイが1ステップずつ移動します。
選択されているスピーカーのメインスピーカーに対する音量レベルは、▶キーを押すと上がり、◀キーを押すと下がります。

L/R-----+-----RS

- 1ステップにつき0.5dB単位で調節します。

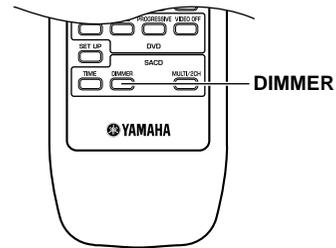
- 7** ENTERキーを押して決定する。

本体ディスプレイが次のスピーカーバランス調節の表示に切り替わります。

- 8** SETUPキーを押す。
通常表示に戻ります。

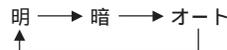
ディスプレイの明るさ調節

本体ディスプレイの明るさを調節します。



DIMMERキーを押す。

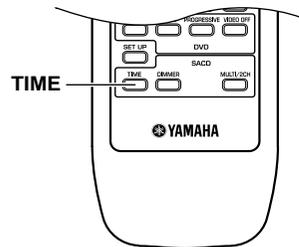
キーを押すたびにディスプレイの明るさが下記のように切り替わります。



- オートに設定すると、ディスクの再生中には暗くなります。一時停止などの操作をすると、一時的に明るくなります。

時間表示の切り替え

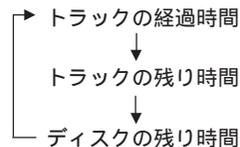
スーパーオーディオCD再生中の時間表示を切り替えます。



(再生中)

TIMEキーを押す。

キーを押すたびに時間表示が下記のように切り替わります。



ご注意

プログラム再生中やランダム再生中には、ディスクの残り時間は表示されません。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

■ 全般

症状	原因	解決方法	参照ページ
各キー操作ができない。	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合がある。		-
[▶]再生)を押しても、再生が始まらない。(または、すぐに停止する。)	寒いところから急に暖かいところに持ってきて、レンズ部に露が付いた。	1～2時間放置してください。	-
	再生できないディスクが入っている。		-
	ディスクが汚れている。	きれいに拭いてください。	34
	ディスクが正しくセットされていない。	ディスクを正しくセットしてください。	-
音や映像が出ない、またはおかしい。	接続、設定が正しくない。	本機と接続機器の接続、入出力設定を確認してください。	8、9、24～31
本体ディスプレイに“ No Play ”と表示する。	再生できないディスクが入っている。		-
本体ディスプレイに“ No Disc ”と表示する。	ディスクが入っていないか、ディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れてください。	-

■ DVDモード

症状	原因	解決方法	参照ページ
音声/字幕言語が切り替えられない。	複数の言語が入っていないディスクでは切り替えできない。		-
	音声/字幕切り替え操作では切り替えできないディスクでも、メニュー画面等で切り替えできる場合がある。		-
字幕が出ない。	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されない。		-
	字幕が“切”になっている。	字幕を“入”にしてください。	15
	A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがある。		-
アングルを変えて見ることができない。	複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えることができる。		-
ビデオで録画できない。	ほとんどのDVDオーディオ/ビデオディスクはコピー禁止処理がされていて、録画できない。		-
音が出ない。(または音がおかしい。)	マルチチャンネルのDVDオーディオディスク再生時に、本体ディスプレイの“ D.MIX ”表示が消灯するときは、ディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できない。		-
耳を刺激するようなノイズがでる。	Digital Outputの設定が接続機器とあわない。	デジタル接続している機器の性能にあわせてセットアップメニューのDigital Outputの設定を変えてください。	25

症状	原因	解決方法	参照ページ
早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	多少乱れることがあるが、故障ではない。		-
テレビ(モニター)に映像が映らない。(または画面サイズがおかしい。)	セットアップメニューの「映像」のTVアスペクト「が正しく設定されていない。	設定を確認してください。	25
	テレビ(モニター)画面に「PAL方式のディスクです。音声のみ出力します。」が表示している場合は、PAL方式のDVDオーディオディスクが入っている。(音声のみ再生できます。)		-
	テレビ(モニター)がプログレッシブ入力に対応していない。	本機のプログレッシブ出力を「切」にして、テレビ(モニター)にインターレース入力してください。	13
プログレッシブ出力時に映像の一部が二重にぶれて見える。	映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です。(インターレース出力(525i)では問題なく再生できます。)	本機のプログレッシブ出力を「切」にして、テレビ(モニター)にインターレース入力してください。	13
画質がよくない。		GUI画面の映像設定で画質を調節してください。	23
画面メッセージが出ない。		セットアップメニューの「画面メッセージ」を「入」にしてください。	25
GUI画面が欠ける。(または表示されない。)		GUI画面表示中、< または > キーで右端の上下矢印アイコンを選び、△ または ▽ キーで位置を変えてください。	20
テレビ(モニター)画面に残像が多く残る。		GUI画面の「ユーザー画質」で画質を調節してください。	23

■ SACDモード

症状	原因	解決方法	参照ページ
セットアップメニューの設定がきかない。	SACDモードではセットアップメニューの設定はきかない。	セットアップメニューではなくSACDモードの各設定してください。調節できない項目もあります。	30、31
デジタル出力端子から信号が出ない。	スーパーオーディオCDはデジタル出力できない。		-

■ リモコン

症状	原因	解決方法	参照ページ
リモコンで操作できない。	リモコン操作範囲から外れている。	本体のリモコン受光窓から6m以内、角度30°以内の範囲で操作してください。	3
	本機のリモコン受光窓に直射日光や照明(インバーター蛍光灯など)が当たっている。	照明、または本体の向きを変えてください。	-
	乾電池が消耗している。	乾電池を全て交換してください。	3

用語解説

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号(NTSC)は525*i*(i:インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525*i*信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525*p*(p:プログレッシブ=順次走査)といいます。

S1端子

4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して映します。

S1/S2端子

S1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

この端子とモニターのS2映像入力端子を使用する場合、DVDモードの映像設定、S端子出力S1/S2のモードをS2にしてください。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録したデータを、音声または映像信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

パン&スキャン/レターボックス

一般的にDVDビデオは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比は16:9)での再生を想定して作られています。したがって、ワイドテレビでは、記録されたイメージ通りの映像を見ることができます。

このようなDVDビデオの映像を4:3のテレビ画面に映し出そうとすると、16:9の映像が4:3の画面に収まらなくなります。この問題を解決するための映像方式がパン&スキャン、あるいはレターボックスと呼ばれるものです。

・パン&スキャン

映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

・レターボックス

画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を再現します。

ビットストリーム(bitstream)

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声にデコード(復号)されます。

PCM

圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた信号をリニアPCM(LPCM)といいます。CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit~192kHz/24bitで記録されているので、CDよりも高音質で再生できます。また、この信号を、情報量を損なうことなく圧縮したものをパケットPCM(P.PCM)といいます。

タイトル、チャプター DVD-V

DVDビデオは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられており、それぞれの区切りの番号を、タイトル番号、チャプター番号と呼びます。

トラック SACD DVD-A VCD CD

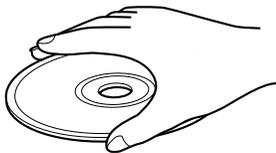
DVDオーディオやCD、ビデオCDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

グループ DVD-A

DVDオーディオディスクの曲構成はグループ単位で分かれています。それぞれの区切りの番号をグループ番号と呼びます。

ディスクのお取り扱いについて

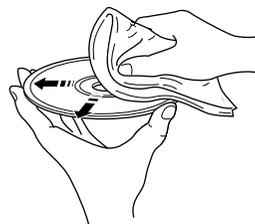
- ・ディスクを持つときには、ディスクの縁や真中の穴を持つようにして、表面に触れないでください。



- ・再生時以外はディスクをトレイに入れたままにしないでください。
- ・ディスクに鉛筆などで字を書かないでください。
- ・ディスクにテープやシールなどを貼ったり、のりなどをつけないでください。
- ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わないでください。
- ・市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わないでください。

- ・ディスクを保管する際には、直射日光のあたるところや温度の高いところ、湿気やほこりの多いところは避けてください。

- ・ディスクが汚れたときには、乾いた柔らかい布で中心から外側へふいてください。その際、レコードクリーナーやシンナーなどを使わないでください。



- ・誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーなどは使わないでください。

主な仕様

オーディオ部

周波数特性

DVDオーディオ	2Hz ~ 88kHz (192kHzサンプリング)
DVDビデオ(リニア音声)	2Hz ~ 44kHz (96kHzサンプリング)
	2Hz ~ 22kHz (48kHzサンプリング)

CD、ビデオCD 2Hz ~ 20kHz (EIAJ)

S/N比 115dB (EIAJ)

ダイナミックレンジ

スーパーオーディオCD	108dB
DVD(リニア音声)	103dB
CD	99dB (EIAJ)

全高調波歪率

スーパーオーディオCD	0,0016%
DVD(48kHz, 24bit)	0,002%
CD	0,0022% (EIAJ)

ビデオ部

ビデオ入力信号

ビデオ	1Vp-p/75
Sビデオ(Y/C)	1Vp-p/0.286Vp-p/75
コンポーネント(Y、P _B /C _B 、P _R /C _R)	1Vp-p/0.7Vp-p/75
D1/D2	1Vp-p/0.7Vp-p/75

総合

電源電圧/周波数	100V、50/60Hz
消費電力	28W
寸法(幅×高さ×奥行き)	435×116×350mm
質量	8.7kg
動作温度範囲	+5 ~ +35
動作湿度範囲	5 ~ 90%(結露しないこと)

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を未永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

- ・ 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- ・ 部品代: 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ・ 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。(品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。)

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エンジニアの差による音色の違いが出る場合があります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは (ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL(011)512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL(022)236-0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL(03)5762-2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL(053)465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL(052)652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL(06)6877-5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL(082)874-3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL(087)822-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL(092)472-2134

愛情点検



永年ご使用のAV製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- ・ 電源コード・プラグが異常に熱い。
- ・ コゲくさい臭いがある。
- ・ 電源コードに深いキズが変形がある。
- ・ 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- ・ 電源を入れても正常に作動しない。
- ・ その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。

なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。



ヤマハ株式会社

Printed in Japan **UD** VIDEO WA14970-2